

ステージスケジュール

各ステージ約 **15** 分を予定しています

7/5 水 7/6 木 7/7 金 (全日程共通)

11:00~ **B** 細胞・遺伝子治療製品の充填とその課題について

12:00~ **A** 塩野義製薬(株) 殿向け国産ワクチン工場建設

13:00~ **G** Pharmira (ファーミラ) のご紹介

13:30~ **D** AI活用 / DXによる医薬製造の革新

14:00~ **F** AVEVA™ PI System™ 製造DXデータ活用

14:30~ **E** PlantStream® のご紹介

7/5 水

7/6 木

7/7 金

15:00~

セミナー会場2

にて登壇

新たな国産ワクチン工場建設
超短納期を実現した千代田の遂行力

C

抗体医薬品製造の世界トレンド

C

抗体医薬品製造の世界トレンド

15:30~

※5日のみ16:00~

C

抗体医薬品製造の
世界トレンド

A

塩野義製薬(株) 殿向け
国産ワクチン工場建設

B

細胞・遺伝子治療製品の充填と
その課題について

セミナー概要

A

塩野義製薬(株) 殿向け国産ワクチン工場建設

超短納期でのプロジェクト完了を可能とする千代田の遂行力

2023年2月、新たな国産ワクチン製造拠点となる塩野義製薬株式会社殿向け工場が完成。生産設備2系列を中心とした全6工事におよぶ大規模案件を、設計着手からバリデーション完了まで31カ月で達成した千代田のプロジェクト遂行スキルをご紹介します。

B

細胞・遺伝子治療製品の充填とその課題について

Cell & Gene Therapy Products / Filling Aspects and Associated Challenges

細胞・遺伝子治療製品の製造は、多品種少量生産、高コストの生産プロセス等様々な課題があります。また、ウイルスやヒト細胞の取扱のため、バイオコンタミネーション技術も求められます。これらの課題へのJacobsの取組を紹介します。

C

抗体医薬品製造の世界トレンド

培養工程の潮流

バイオ医薬品製造では、培養プロセスの効率化が求められ、高密度培養がキーである。本講演では、効率化の手法として、大容量培養、連続培養についての海外の動向とともに、千代田の貢献できる手法も発表する。

D

AI活用 / DXによる医薬製造の革新

物理モデルとAI・デジタル技術融合による医薬製造の次世代モデルの共創

これまで困難だった各装置内部のリアルタイム状態可視化、製品品質含めた現象予測を弊社が培ってきた流動シミュレータ技術やAI技術を用いて、AIソフトセンサーや最適化ソリューションを組み合わせ、反応収率の向上など製造技術の革新をご支援します。

E

PlantStream®のご紹介

1,000本の配管を、1分でルーティング

自動ルーティング機能によって、データ内に、配管ラックを設け、各配管の始点と終点を指定し、ワンクリックで、配管ルート計画が完了する。FS、FEEDプロセスで、設計精度、および設計スピードが大きく向上します。

F

AVEVA™ PI System™ 製造DXデータ活用

TIS千代田システムズがAVEVA PI Systemのデータ活用をサポートいたします

業界標準データ管理インフラであるAVEVA PI Systemの導入実績に基づく製造DXデータ活用についてご提案。AVEVA PI Systemに蓄えられた製造ビッグデータを生産性向上、品質向上に活かすなら、TIS千代田システムズにご相談ください。

G

Pharmira (ファーマイラ)のご紹介

原薬・中間体の連続生産技術を用いたCDMO

ファーマイラ社は、シオノギファーマ社を中心に設立された医薬品原薬・中間体の連続生産技術を用いたCDMOです。千代田は同社に対する出資参画・出向者派遣・共同研究を通じ、連続生産技術の社会実装に貢献しています。